

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年3月31日

事業所名 はぐはぐ子ども村高鍋

保護者等数(児童数)35

回収数33

割合 94%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	0	0	1		R2,4よりふれあい交流センターの指定管理を受け子ども達の活動スペースを広くし課題ごとに部屋を分ける事で子ども達が落ち着いて過ごせるように取り組んでいる。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	27	3	0	2	送迎の際に添乗スタッフがいると良いを思った。(安全安心の為)	必要に応じて添乗をつけた送迎を行うようにしているが常に配置できる職員体制にはなっていない為、今後法人全体の課題で取り上げていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	31	0	0	2		トイレ修繕は難しいが、スペースの工夫等は取り組んでいく。子どもの特性に合わせて写真付きの籠を準備したり、カードで見通しを伝え活動しやすい様に工夫するようにしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	32	0	0	1		間仕切りなどで空間を分けたり、活動に合わせて大きくしたりしている。玩具・室内の清掃は感染経路にもある為、こまめに清掃している。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	32	1	0	0		個別に計画を見直し、アセスメント徴収、職員間での評価、原案作成、会議で協議してから保護者へお伝えしている。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	28	0	0	5		子どもの日々の活動から困り感をどのようにしたら本児が自主的に活動ができるかを取り組む中で見つけ出し成功体験が増え自己効力感が育まれるよう取り組むようにしている。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	31	0	0	2		職員で朝礼や夕礼、ケース会議で共有し次の目標の前に評価を行い次回支援を行っている。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	27	1	0	5		基本3部構成(活動の時間・静の時間・自由遊び)は土台であるが、人との関りや、活動内容などは個別に合わせてたり、作業療法士等からアドバイスを頂きながら色々なプログラムが経験できるようにしている。サーキットは成長に合わせて2~3ヶ月に一回変更している。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	18	4	2	9	コロナの影響で交流が少ない。	直接交流はないが、併用通園をしている児童が多い為、日常的に色々な交流はある。事業所では年に2回の合同行事や曜日で利用児童が変動する中で、他の保育園や幼稚園の子ども達が集まって活動に取り組んでいるが今年度はコロナの影響で思うように取り組めていない。

	チェック項目	はい	とも いえな い	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	1	0	0		契約の時に運営規定、重要事項説明等行っている。昨年の反省からより丁寧に説明を加えたことで評価でご理解いただけている数字になり嬉しく思う。今後も丁寧な説明を続けていく。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	33	0	0	0		ガイドラインのねらいについての説明が不足していると思うので昨年に続けて説明していく。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	34	1	4	7		代表が行っているペアレントトレーニングの紹介をしたが、今年度は個別対応での実施だった。また、コロナの影響で母子通園も中止が多くなり思うように進まなかった為、新しい生活様式を取り入れながら新たなやり方を模索中。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	27	4	2	0	全般的にコロナの影響で事業所の活動が制限されていて色々なイベント参加できない為まいちどんな活動をしているか分からない。幼稚園や保育園のようにお帳面がないので分からない。	利用時間内には連絡帳を書く時間が確保できず、電話やメールで対応している、今後もご要望に沿えるかは検討していく。積極的に保護者の方へのメールのやり取りは増えた。コロナの影響で母子通園で伝えられていたことも今年度は計画通りに進まなかった為、今後新しい生活様式えを取り入れた内容を考えていきたい。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	2	0	0	いつもしてもらっている。有難い。	個別面談、母子通園の他に、希望の方へは見学の対応や電話などで今後も支援をしていきたい。目標見直し前にモニタリングを行い記録をしていく。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	7	3	9	コロナで保護者同士が会う機会が少ない。コロナで母子通園がなくなり様子が見れない。他の事業所との交流があまりない。木城で行われた講習会は分かりやすかった。プリント配布などあれば理解につながる為お願いしたい。似たような悩みを持っていると思うので保護者同士が話し合う機会があると良いと思う。	母子通園や、合同行事の際に保護者の方の出会いの場になればとレクリエーションやBBQを企画したが、今年度はコロナの影響で出会いの場となる回数が少なかった。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	31	1	0	1	子どもの様子が見れてよかった。	保護者の方のご要望に応じて個別にお子さんの様子を見て頂き相談、対応は今までも行っていたが、今後はもっと気楽に相談ができる体制づくりを検討していく。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	4	0	4		お子さんの大きな変化や成長があった時には、メールや電話などでお知らせをするようにしている。また、事業所での出来事(よかった事)が保護者の耳に届き、自宅でも褒めてもらえることでお子さんの励みになればよいと考えている。昨年より保護者の方とやり取りが増え保護者の方の安心につながって嬉しい。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	25	1	0	7		毎月のおたよりで写真を掲載し様子をお知らせしている。自己評価については昨年からホームページに掲載している。今年度も引き続き掲載していく。また、質問への回答など改善策を文書で配信する。
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	26	1	0	6		個人情報の取り扱いについては、職員で徹底しているが、今後も事業所間や相談支援員との情報共有の際は保護者承諾の元、十分配慮していく。	

	チェック項目	はい	とも いえない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	22	1	0	10		年度初めに避難場所や緊急時の内容の文書を配布した。防犯、感染症も含め今年度も保護者の方と共有でき、いざという時に連携できるよう整えていく。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	3	0	7		災害時の流れや、主な担当など職員間で決めてマップにし毎月訓練をしている。また、今年度は非常用の水、避難バック、避難食を準備した。年度初めに移動などがあつた際、職員間の引継ぎなどの周知が難しいため、今後も定期的に確認をしていく。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	26	3	2	2	いつも楽しみにしている。朝はどうしても嫌だと言うが帰って来たら楽しかったと話す。「今日ははぐはぐ？」と聞くくらい楽しみにしている。	子ども達の日々の変化を感じながら、自宅や保育園からの切り替えに時間がかかったりする時でも、送迎車の中で切り替えが出来たり、到着する時には笑顔になれる様子を見守っている。また、保護者の方に安心してもらえるよう母子通園、個別支援以外でもメールや電話で対応につとめている。
	23 事業所の支援に満足しているか	28	3	0	2	少しずつできることが増えて事業所のお陰だと思う。	目に見えて成長を感じられる部分と1年、2年かけて気づいたらこんなに成長していた等、個々に合わせた目標を計画し、子どもに無理がなく自己達成感が積めるように取り組む努力をしていきたい。今後もその子その子の特性や成長に合わせて対応を考え、保護者の方と協力をしながら楽しく通所してもらえるよう配慮していく。それぞれの特性や、環境の変化の不安定さ等もふまえて、その子にあった支援がされているのかを常に検討、見直しをしながら今後も運営していく。

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。